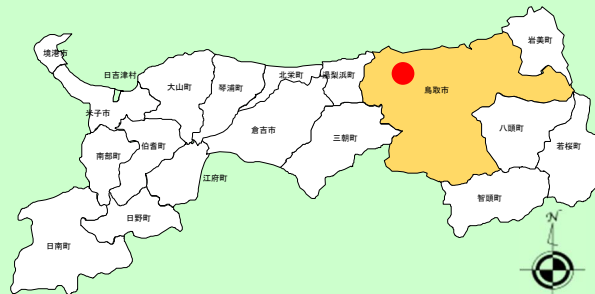


令和5年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織（鳥取県）

【多面的機能支払】

「^{えげ}会下部落地域資源・環境保全プロジェクト」^{とっとりし}（鳥取市）

- (1) 認定農用地面積：21.8ha
（田：17.5ha、畑：4.3ha）
- (2) 組織構成：
1 集落（農家 11 戸、非農家 18 戸）



【組織の概要】

本組織は、鳥取県東部地域にある鳥取市の西側に位置しており、弥生時代の集落跡が発掘されていますが、およそ 430 年前の室町時代の末に農地開発され、同時に農業用水確保のため池として「大堤池」が作られた歴史的な背景があります。

平成 19 年度に本活動組織を立ち上げ、「大堤池」を中心とした農村文化の伝統行事や景観形成活動により地域の活性化に取り組んでいます。

また、集落が一体となって取り組む鳥獣被害防止対策や田んぼダム、農地・農業用施設の長寿命化の活動に、集落内の青年部や地元大学生と一体となって取り組むなど、多様な人材が参画した活動を行っています。

【主な取り組み内容】

○「大堤池」を中心とした農村文化の伝統行事や景観形成活動

毎年、大堤池の水を抜き「ウグイ（魚伏籠）」といわれる竹で編んだ筒状の漁具を使った「ウグイ突き漁」という 400 年以上受け継がれた伝統漁法を行っており、ため池の管理と農村文化の継承を地域一体となって取り組んでいます。

また、他組織への視察をきっかけに、芝桜を使った景観形成活動に取り組んでいます。女性役員が中心となり、組織独自の栽培方法で地域のいたる所に植栽された芝桜は、春になると可憐に咲き誇り、地区内外から多くの方が見学に訪れています。

○多様な人材が参画した活動

ウグイ突き漁、景観形成活動、草刈り、水路清掃、鳥獣害防護柵の設置などの活動に大学生がボランティアとして参加するとともに、地元小学校からも郷土学習として参加しています。また、地元青年団に所属する若い世代も、活動組織指導のもと、農業用施設の補修活動を実施しています。



伝統漁法のウグイ突き漁



芝桜での景観形成活動



地域一体となった鳥獣被害対策